

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第45週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第45週分 11月6日～11月12日（11月15日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：100人、定点医療機関当たり2.08人、新規患者推計値※：472人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

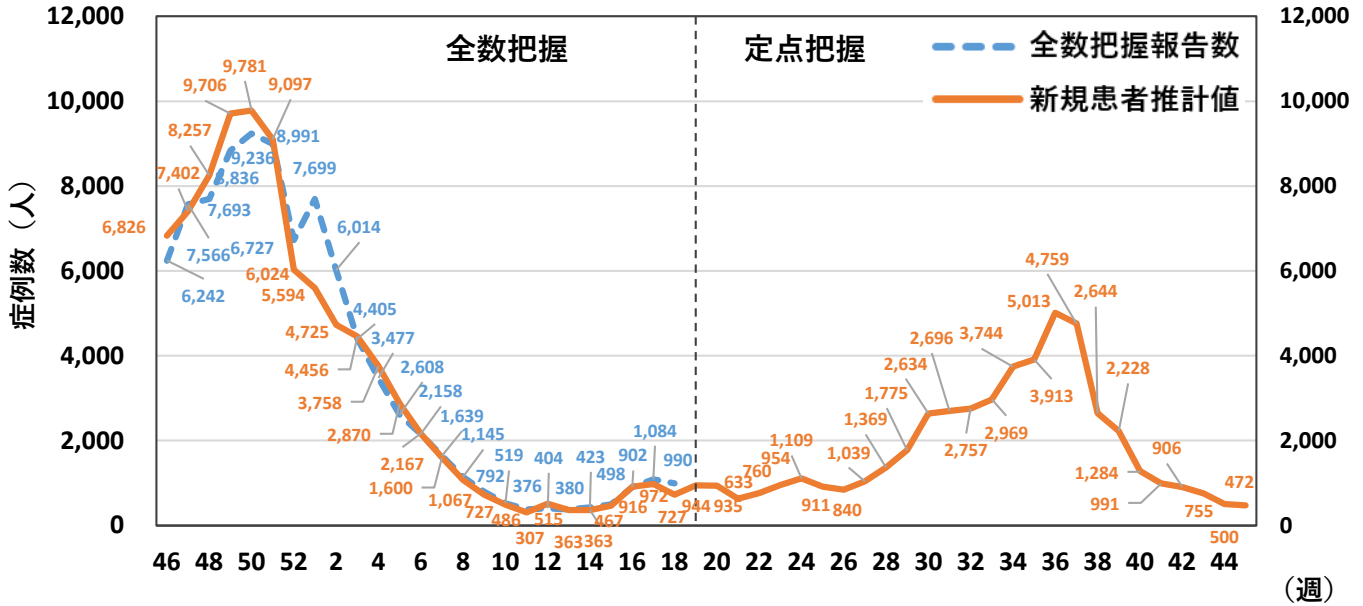


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

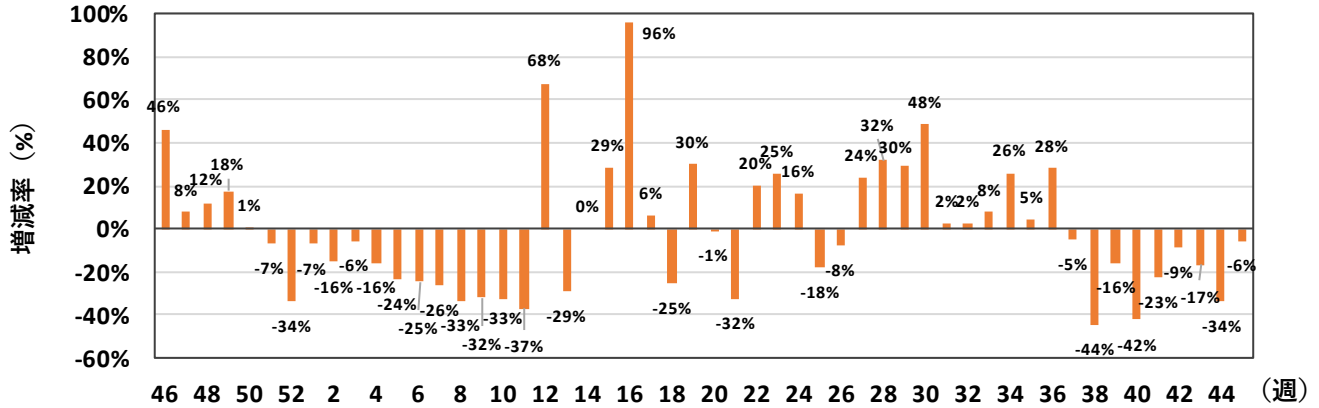


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第45週）

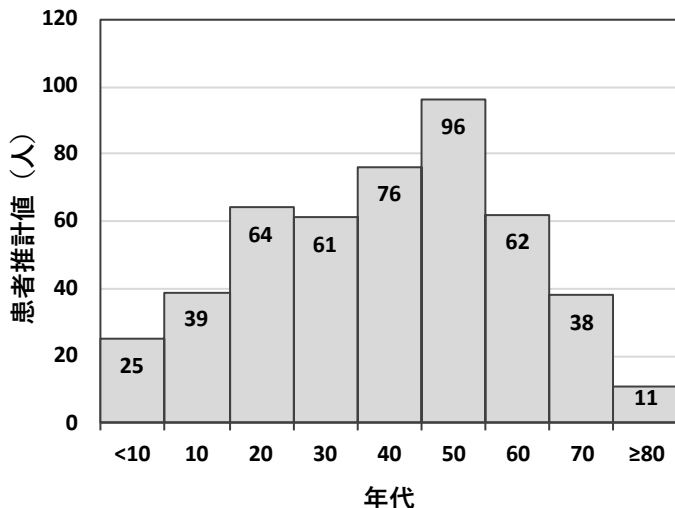


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第45週）

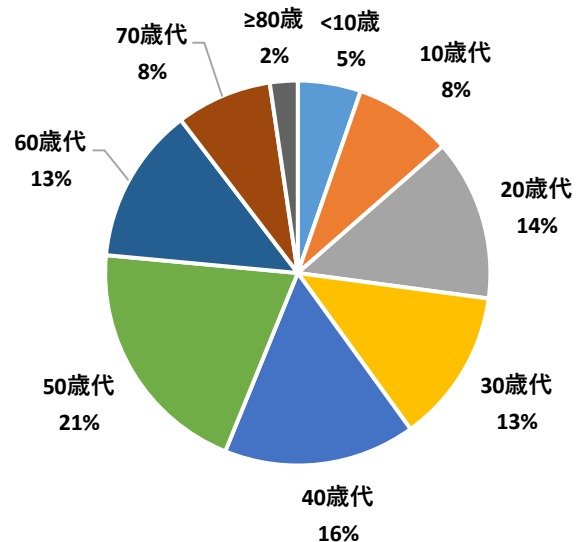


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

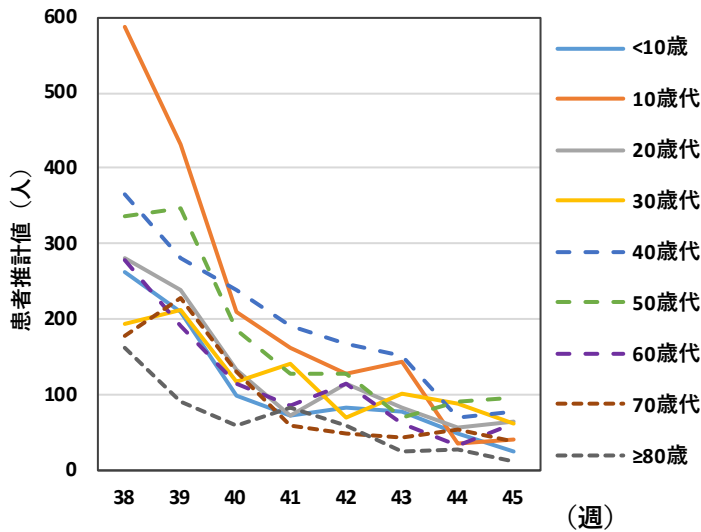
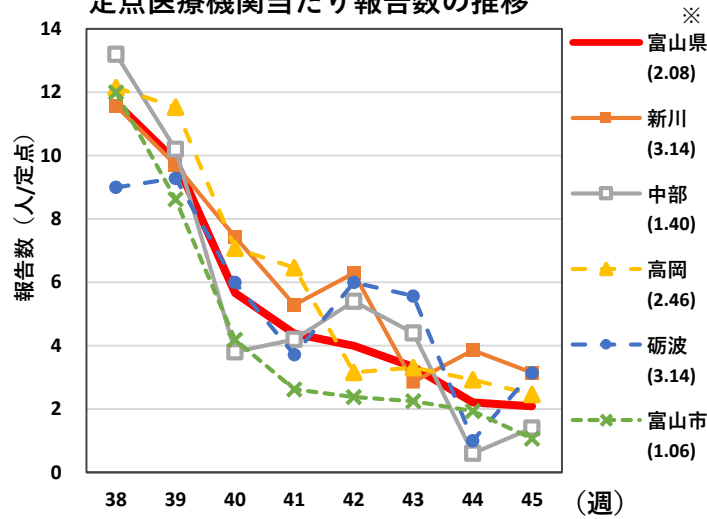


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス

年代分布（第45週、15例）

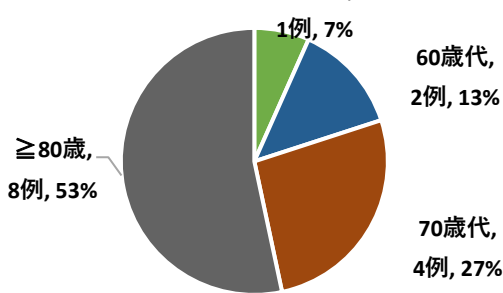
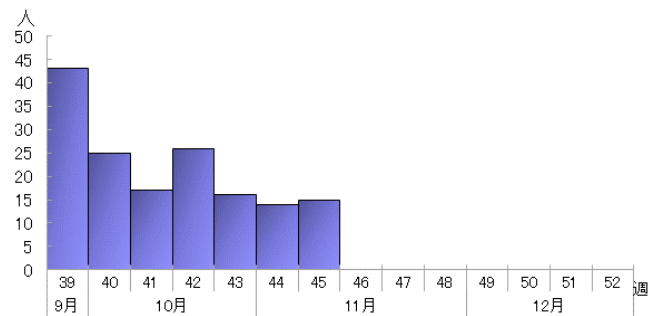


図8.COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移（富山県）



第45週（11/6～11/12）時点での所見と評価

- 第45週の定点医療機関当たり報告数は2.08人、新規患者推計値は472人であった。前週推計値（第44週、500人）から6%減少した。（図1、2）。
※第43、44週報告数に修正有り。
- 第45週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く21%を占め、次いで40歳代（16%）、20歳代（14%）の順に多くを占めた。60歳以上の割合は23%で先週（23%）と同様であった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。各年齢で緩やかな減少～横ばいの状況であった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で2.08人/定点であり、先週（2.21）から減少した。中部、砺波管内では先週から増加した一方、その他の管内では減少した。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第45週に15例の入院報告があり、先週（14例）と同程度であった。年代分布は、80歳以上の年齢が最も多く、53%を占めた。また、50歳未満の報告はなかった。（図7、8）。